



Press Information

※このお知らせは、米国時間 2013 年 9 月 19 日にアジレント・テクノロジーズ・インクが発表したニュースリリースを、アジレント・テクノロジー株式会社が和訳・要約したものです。

<お知らせ>

2013 年 9 月 20 日

PRCOPR13-13

アジレント・テクノロジーズ・インクが、
業界を代表する株式公開会社 2 社に分割
非課税の手続きにより電子計測事業の新会社の株式を株主に分配
両事業の戦略的柔軟性を向上

- 2 社とも株式を公開。株主の皆様は、独自のそれぞれ異なるビジネスチャンスをもつ 2 社として投資が可能に
- 39 億ドル規模(*1)のライフサイエンス・診断・応用市場会社
- 29 億ドル規模(*1)の電子計測会社の社名は後日発表
- 会社分割により、戦略面、経営面において、両事業の発展に寄与
- 経営陣はそれぞれの会社のお客様への注力を強化

アジレント・テクノロジーズ・インク（CEO：Bill Sullivan、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、NYSE:A、日本法人：アジレント・テクノロジー株式会社）は、自社を独立した株式公開会社 2 社に分割する計画であることを発表します。1 社はライフサイエンス・診断・応用市場（LDA）関連会社で、アジレントの社名を承継します。もう 1 社は現在の電子計測事業（EM）を承継します。今回の分割は、アジレントの株主に非課税比例分配により電子計測会社の株式を配分する方法で実施する計画です。

アジレントの社長兼 CEO である William (Bill) Sullivan は次のように語っています。

「当社は、2つのそれぞれ異なる投資・事業機会を有する会社へと発展を遂げてきました。当社は独立かつ戦略的にフォーカスした2社に分割し、それぞれの会社が成長・成功の最大化を目指します。」

Bill Sullivan はこう続けています。

「アジレントの歴史は、改革の歴史と言えます。HPからの分離に始まり、年以來、大規模な分離を4回経験してきました。過去に何度も経験していることではありますが、当社はここで改めて大胆な策に打って出ることになりました。これにより、LDA会社およびEM会社が、今後もそれぞれ持続的な成長を実現してまいります。」

利点

アジレントは、今回の分離が独立した両社に大きな利点をもたらすと確信しております。

- LDA および EM それぞれ異なるビジネスに経営陣が専念可能
- LDA 会社は高成長の LDA 事業に経営資源を集中。変動の大きい EM 業界の影響を抑制
- EM 会社は、かつての LDA 事業中心の投資から脱却し、自社の事業の経営資源を集中
- それぞれ独立した独自の2社として投資可能
- 両社とも良好な財務状況で、目標とする有利子負債／EBITDA 倍率は 2.0 倍未満

新アジレント

新アジレントは、ライフサイエンス・診断・応用市場においてグローバル・リーダーとなります。継続的売上の比率が高い魅力的な事業構成、バランスのとれた地域別事業比率となっており、新興市場・分子診断・臨床市場における成長機会および利幅の大きい事業機会に恵まれています。2013年度の売上高見込みは39億ドルとなります。新アジレントは少なくとも現在と同水準で配当を継続していく見込みです。

アジレントの社長兼 CEO は Bill Sullivan、CFO は Didier Hirsch が引き続き務めていきます。

EM 会社

新 EM 会社は、世界を代表するプレミアム電子計測メーカーとなります。通信、航空・宇宙・防衛、産業、コンピュータ・半導体など、主要市場でリーダーとなります。2013 年度の売上高見込みは 29 億ドルです。EM 会社は当初は配当を行わない見込みです。

これまで当社の社長兼最高執行責任者を務めてきた Ron Nersesian はアジレントのエグゼクティブ・バイスプレジデントとなり、新 EM 会社の CEO となります。この変更は即日執行となります。これまで当社のバイスプレジデント兼財務責任者を務めてきた Neil Dougherty はアジレントのバイスプレジデントとなり、新 EM 会社では CFO となります。

Sullivan はこう語っています。

「取締役会のメンバーおよび私は、Ron は新会社のリーダーに適任だと確信しております。この事業の運営においても素晴らしい成果を出しており、新会社の成長・成功を加速するためのビジョンや見識にも優れています。」

手続きの詳細

アジレントの取締役会は 9 月 18 日にこの分離計画を暫定承認する旨、決議しました。

今回の計画に基づき、アジレントの株主は非課税の手続きにより、新 EM 会社株式を比例分配で受け取ることになります。分離がこの計画どおりに進むことを確約するものではありませんが、2014 年末までの完了を目標としています。手続きの完了には、取締役会の最終承認、経理関連の条件の充足、税務当局からの承認、米国内国歳入庁からの優遇税制適用の承認取得、米国証券取引委員会の Form 10 書類提出の有効性、海外の法的要件の充足等が必要となります。

今回の分離により、2013 年度のアジレントのガイダンスに影響を与えることは想定していません。今回の分離に先立ち、手続きに必要な一時費用を計上する見込みです。必要となる金額については算出中です。

#

このお知らせに関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

広報担当 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー（NYSE:A）は、化学分析、ライフサイエンス、診断、エレクトロニクス、コミュニケーション市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。20,500名の従業員を擁し、100カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2012年度、69億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

将来の見込みに関する記述について

このニュースリリースには将来の見込みに関する記述（会社の目標、優先事項、計画中の電子計測グループの分離、売上高、需要、成長機会、顧客サービスやイノベーションの計画、新製品投入、財務状況、利益、配当支払い能力、資本市場へのアクセス、会社が参入している市場における好調の持続や成長見込み、運営、営業利益、税率などがありますが、これらに限りません）があり、リスクや不確かさが含まれています。結果として経営陣の現在の予想と大幅に異なることもありえます。「見込み」、「計画」、「目標」、およびこれらと同種の表現が当社に関する文脈で使用されている場合、将来の見込みに関する記述と同様の扱いとなります。

さらに、アジレントが事業を行なっていく上で直面する他のリスクもあります。例えば、ビジネスサイクルにうまく対処していく能力、コスト削減の目標を達成しその利益を享受していく能力、ビジネス状況の変化に合わせたコスト構造をうまく採用していく能力、競争・価格・粗利益に対する圧力、コスト削減が製品開発力、競争力維持、業務効率に影響を与えるリスク、地政学上の不透明さや全世界の経済状況が当社の営業、市場およびビジネスを運営する能力に与える影響、需要の変化に合わせて資産管理を改善していく能力、新製品を適切なタイミング、適切な価格、適切な方法で成功裏に投入していく能力、その他のリスクがあります。これらのリスクの詳しい説明は、2013年7月31日に終了した四半期のForm 10-Qの四半期報告書などの米国証券取引委員会の書類に記載されています。アジレントは、将来の見込みに関する記述を公に更新する義務を負いかねます。

*1 2013年度の売上高、2013年8月14日に発表した当社のガイダンスに基づく見込みです。確定した数字ではありません。

マスコミ関係者の皆様： 技術、地域貢献、役員等に関連する情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/newsjp>